

リークセンチネル V5 XB

46128

取扱説明書

この度は、リークセンチネルをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本製品について

本製品は、ダイビング前にハウジングの気密状態を確認するための装置です。



www.vividhousing.com

info@vividhousing.com

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、人や製品への危害や損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。

- ⚠ 注意** 取り扱いを誤った場合、ケガを負う可能性および物的損害の発生が想定されます。また、製品の品質・信頼性が損なわれる可能性が想定されます。

⚠ 注意

- 本製品を絶対に加工・改造しないでください。浸水や故障の原因になります。加工・改造品の浸水・破損等の保証はいたしかねます。修理や内部の点検は、ご購入先の販売店にご相談ください。
- 水しぶきのかかるところ、湿気が多いところ、海岸などの砂のつきやすいところでは、本製品の着脱をおこなわないでください。水滴落下・浸水などにより故障の原因になります。
- 本製品の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。重量で本体が変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。また、浸水の原因にもなります。
- 本製品および取り付けけたアクセサリなどを持ってハウジングを持ち上げたり、運ばないでください。持ち運ぶ際はハウジング本体やグリップなどをお持ちください。落下・破損など、思わぬケガや故障の原因になります。
- 高温になるところに放置しないでください。特に炎天下や真夏の車内、車のトランクの中は異常に高温になりますので絶対に放置しないでください。本体の変形や反り等が生じて浸水、水没の原因となったり、また、結露を生じる場合があります。
- 水に濡れたところや湿気が多い場所で本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- 本製品を濡れたまま放置しないでください。水滴がついたまま放置しますと、シミ・ムラとなって残ってしまうおそれがありますので、キズがつかない柔らかい布などで水滴をよく拭き取ってください。
- 万一、本製品の不具合により撮影できなかった場合、撮影内容・撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
- 本製品のご使用上において、万一、お客様の取り扱い上の不注意による破損・損傷などが生じた際のカメラ・レンズ、その他のアクセサリ等の交換・補償はいたしかねます。
- 本書の記載内容の誤りなどについての補償はご容赦ください。

- プロテクトキャップを装着しない状態で、ダイビング等にご使用にならないでください。ラバーバルブは負圧を保持する為の物ですので防水仕様になっておりません。ダイビングの有無にかかわらずプロテクトキャップは常に装着してください。
- バッテリーはCR2032をご使用ください。またプラス極は電池ケース下部にマイナス極は基盤側へ装着してください。誤って逆に装着してしまいますと回路基盤に損傷を与え、保証が効かなくなります。
- 本品取り付け後にエアール漏れがないかの検査(プレダイブテスト)をしてください。すべてのユニットは出荷前に十分にテストされています。

- 検査時にエアール漏れが確認された場合は、再度本品とハウジングの防水面を確認してください。本品の取り付けに起因する不具合、損傷に関してはvividhousing社(代理店シーアンドシー)は保証致しません。問題が解決しない場合は使用をやめ、弊社へご連絡ください。
- エアール漏れ/水没の原因とならないように、プロテクトキャップやポンプキャップの取り付け取り外しの際は、必ずバルブボディを反対の手で保持して緩まないようにしてください。
- 本品を取り付けられている場合、ハウジングを負圧にしないで潜る事はお勧めいたしません。負圧下でのダイビングにおいてもカメラ等に損傷を与える事はありません。これは結局のところ、カメラハウジングが安全な状態が安心できる、という所に理由があります。多くの水没が、洗い桶の中で発生しています。それは洗い桶での水圧が非常に弱い為です。Oリングは、より強い圧力を加える事(負圧にする事)でより強くシーリングされます。本品を使用して事前に負圧にする事で、Oリングのシーリングを向上させることができますので最初のダイビングの前にプレダイブテストをされる事をお勧めします。
- プレダイブテストは常に乾いた場所で行ってください。ラバーバルブは防水ではありません。ラバーバルブは電源のオンオフだけでなく、負圧状態を開放する為にも使用します。水滴が本品の内部に入ると回路に損傷をおこします。特に小さなポートでは、乗る前に本品を使用し負圧状態にしてください。バッテリーは約100時間持ちますので、電池の節約をしようとする事より、水滴の侵入のリスクを考慮してください。

保証について

- ビビットハウジング(代理店シーアンドシー)は購入日から一年以内の製品不具合、欠陥に関して、修理、もしくは交換などに対応します。
- ビビットハウジング(代理店シーアンドシー)は水没による、撮影機器の故障やデータ損失による責任を負いません。
- この保証は使用者の過失による故障の場合には無効となります。製造者以外による改変、不適切なケアに関しても同様です。

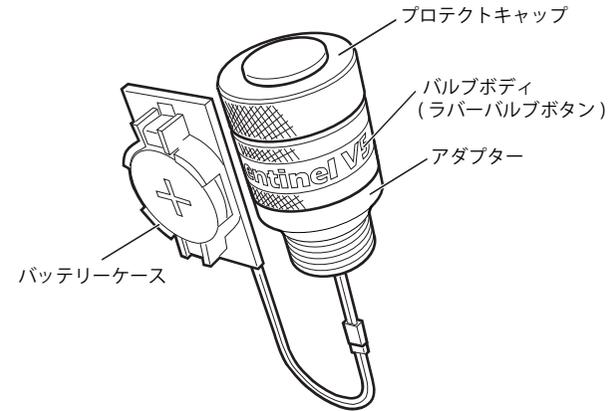
バッテリーの交換

- 電池はCR2032をご使用ください。
- 駆動時間は電源を入れた状態でおよそ100時間となります。使用にならない時は電源をオフにしてください。
- バッテリーを交換するには、バルブボディをアダプターから外してください、きれいな手で電池を基盤から取り外し、交換してください。
- プラス極は金属の囲いの外側に、マイナス極は基盤側に取り付けます。
- 必要に応じて、OリングにはSEA&SEAのシリコングリスをお使いください。
- 基盤以外のパーツは柔らかい毛羽立たない布で拭いてください。

お手入れと保管上のご注意

- 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- ご使用になった後は、十分に真水につけてから流水で洗ってください。
- 十分に真水に浸けなかったり、流水で洗うだけでは塩分が残り、乾燥すると塩は結晶となり水に溶けにくくなります。本製品に付着した塩の結晶は非常に取れにくく、浸水の原因になることもありますので、必ず真水に十分に浸けてください。
- 水洗いした後は、乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、陰干しにして乾かしてください。
- 熱を発生する器具で強制的に乾燥させることは、変形や破損の原因となる場合がありますのでおやめください。
- 長期間ご使用にならないときは、高温・高湿、直射日光の当たる場所や、極寒になる場所を避けて保管してください。
- ナフタリンや樟脳の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ご使用になった後は、Oリングのメンテナンスをしてから保管してください。ご使用前後に必ずOリングの点検をし、早めの交換をおすすめします。

各部の名称



本品を装着、使用する前に各部の名称をよくご確認ください。

取り付け方法

- 本品の取付は原則弊社で行いますが、適合したスナッピングブライヤーをご使用いただく事で、取り付け外しが可能です。本品はハウジングに拡張用コネクター取り付け部(目隠し蓋)が付いている機種にご使用になれます。

スナッピングブライヤーの規格
・軸用曲爪
・使用範囲12~25mm
・ビット系φ1.4mm

※MDX-80Dのリアケース側に取り付けられる場合のみ
ハウジングリアケース側(カメラ背面側)の拡張用コネクター取り付け部の目隠し蓋についている赤色のOリングを、本品のボトムアダプターOリングと付け替えて取り付けてください。

プレダイブテストの手順と操作

1. プロテクトキャップを反時計回りに回して取り外します。その際に本体と一緒に緩まないように、必ずバルブボディを押さえて取り外してください。
2. ラバーバルブを短く押し、スイッチを入れてください。
3. LEDが赤色で長い時間(1秒程度)点灯します。次に点滅を開始します。基盤が作動し圧力を計測している状態になります。
4. (手動もしくは電動ポンプの)ポンプキャップをバルブボディに取り付けます。取り付けにくい場合は一度チューブから外していただいても構いません。
5. (手動もしくは電動ポンプ)を動作させてください。
6. LEDが赤⇄緑の交互点滅となります。この時ハウジング内の圧力が変化している事を示しています。
7. 規定の圧力に達した時、LEDは緑の長い点灯をします。その後緑の点滅を開始します。緑の点滅を確認しましたら、ポンプの動作をやめてください。
8. ポンプキャップを取り外してください。※取り外した後、若干空気が入り込み、LEDが赤緑の交互点滅になる場合があります。その際はラバーバルブの裏側に少量のグリスを塗布して頂き、バルブボディとラバーバルブを密着させてください。
9. ごみやほこりの付着がないかを確認してプロテクトキャップを閉めてください。※状況に応じてSEA&SEA製のシリコングリスを少量塗布してください。
10. 15~20分そのままの状態を観察します。緑の点滅が続いているようでしたらハウジングは水密が保たれている状態と言えます。赤緑の交互点滅となった場合は空気が漏れている状態です。再度ハウジングのOリングなどの点検を行ってください。
11. ダイビング中に時折LEDを確認してください。もし、赤緑の点滅に切り替わっていた場合は、まず目視にて浸水の確認をしてください。浸水が確認されたら、必ずダイビングの安全手順を順守の上、浮上をしてください。機材の損傷を防ぐため、ポートを下向けにして浮上する事をお勧めします。

ダイビング後の手順

1. ダイビング後は本製品を装着したまま、塩抜き、すすぎを行い、乾燥させてください。事前に本製品を取り外す必要はありません。
 2. プロテクトキャップを取り外します。
 3. ラバーバルブの突起部を静に横に動かし、バルブを持ち上げてください。空気が入り込む音が聞こえ、圧力が外気圧と等しくなります。LEDは赤色の点滅になります。
- ⚠ 注意**
- 上記の作業を行うまでは、ハウジングを開ける事ができません。
 - ラバーバルブは強く引っ張らないでください、本体から外れてしまう恐れがあります。
4. ラバーバルブを押してスイッチをオフにしてください。
 5. プロテクトキャップにゴミやほこりの付着がないが確認し、取り付けてください。必要に応じてSEA&SEA製のグリスをお使いください。

その他の機能について

- 本品は外環境の温度変化に伴う、圧力の変化を監視する機能を持っています。この機能により、温度変化による誤報を防ぎます。※ユーザーの操作は必要ありません。
- 本品は事前にハウジングのセッティングをできる機能を有しています。例えばダイビングの前日の夜にハウジングをセットし、本品でプレダイブテストを行います。一度本品の電源を切り、翌日電源を入れた時に、自動的に圧力の状況を検知します。電源を入れた時は、短時間の赤点灯の後、緑点滅に切り替わります。
- 本品のバッテリーが少なくなってきた場合には、電源を入れた際にLEDが赤色で急速な点滅をします。その時点で残り1~2時間の駆動時間となりますが、誤作動を起こす可能性もありますので、速やかにバッテリーを交換してください。
- ラバーバルブボタンを3秒間長押しする事で、回路をリセットする事ができます。

LED表示について

機能	ユーザーの操作/説明	LED表示
電源オン	ラバーバルブボタンを「短く」押ししてください	1秒間の赤色点灯の後、赤色の点滅が続きます
電池残量少	電源オン時	1秒間の赤色点灯の後、早い赤色の点滅をします
圧力変化中	ポンプ操作中/リーク警告	赤緑の交互点滅
負圧を保持	圧力の監視中	緑の点滅が続きます

仕様

材質	塩化ビニル樹脂、耐腐蝕アルミ合金(アルマイト処理)など
耐圧深度	100m
質量	約30g(陸上)
付属品	・取扱説明書(本書) ・バッテリー ・予備Oリング3本 ※プロテクトキャップ用2本(本) ※トップアダプターOリング用(細)1本 (電動/手動ポンプキャップと兼用) ※ボトムアダプター用の予備Oリングは付属しません。

※仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

SEA&SEA (販売代理店)
シーアンドシー株式会社
〒145-0062 東京都大田区北千束1-4-6
TEL.03-5701-5533
カスタマーサービスセンター
TEL.03-6421-1566

(2019年4月現在)